

<p>五月一日 頂上社開門 さあ行こう！ 石鎚山へ！！</p>		<p>発行所 〒793-8555 愛媛県西条市西田甲797番地 石鎚神社・石鎚本教 電話 (0897) 55-4044</p>
		<p>5・6月号</p>



御神像奉持団体の益荒男たち 先達会符一番三番が揃いて  
(令和4年7月1日 中予崇敬組合)

# 道

日々の暮らしを取り戻し、  
新しい時代をつくらう！

長かった冬の時代。世界を覆った禍事も随分と薄らいできました。私たちの心にも日々の暮らしにも、いよいよ「春」が来ました。我々が日々の暮らしを取り戻すことが、禍事を過去の事にしてゆきます。まもなく御山開き大祭。本年からは通常の体制でお山開き大祭を行います。そして、新しい時代をつくる。

正月でも春でも秋でも、法螺貝の音を聞くと、御山開きのあの靈氣を思い出します。あの空気を共有したい、子供達にも感じて受け継いでほしい。その為のお願いをお伝えするのが、この誌面でもあるうと思えます。

あの靈氣満ちるあの御山へ、お一人でも多くの方を。そして新しい時代をつくる。親や先祖が感じたあの空気、お一人でも多くの方に感じてもらうため、オール石鎚でお声掛けを致しましょう。

お山に行こう！  
武智拝。

# 四月五日

## 石鎚神社春季例大祭さくら祭

去る四月五日(水)桜花爛漫の中、石鎚神社口之宮本社御本殿にて、春季例大祭・さくら祭りが盛大に斎行されました。

当日は、全国各地より多数の石鎚信徒を始め、ご来賓

神社本庁長老 伊豫豆比古命神社名誉宮司 長曾我部延昭様をはじめ神社界政界各界よりのご参拝を賜り、祓戸でお祓いをして、午前十時より祭典を斎行。



祭典は「石鎚立螺之会」の勇ましい立螺に始まり、神御衣の献上撤下が奉られ、武智宮司が祝詞を奏上し、日々のご神恩に感謝すると共に、五穀豊穡と国家の安泰、世界人類の福祉と平和を祈願しました。



続いて巫女が浦安の舞を奉納。西田獅子舞保存会による獅子舞をご奉納頂き、そして玉串を奉り拝礼し、今日の日をお祝い申し上げると共に、それぞれの願事を祈願して厳粛に祭典を終了致しました。



来賓祝辞として

神社本庁長老

伊豫豆比古命神社

名誉宮司 長曾我部 延昭様

参議院議員 山本 順三様

令夫人山本舞祈子様

愛媛県議会議員

森高康行 元老

愛媛県議会議員

黒川理恵子 副取締役

方々よりご挨拶を頂戴し、

その後、神輿にご神像をお遷しして神輿渡御が行われ、樽神輿や敬神婦人会の花神輿、お稚児行列も賑やかに社務所前に到着し、一回目のお餅撒きが行われました。



続いて神御衣が

愛媛県 直轄大教会

広島県 蔵王教会

岡山県 倉敷中央遙拝所

へそれぞれ下付されました。



神輿が御旅所に着御すると、お旅所祭りが執り行われ、巫女による豊栄の舞や西田獅子舞保存会による獅子舞、敬神婦人会の「手踊り」と「石鎚音頭」が奉納されました。



その後、御神像は還御されてご神像拝戴がなされ、二回目のお餅撒きが本殿向拝より執り行われ、福木もその時に併せて撒かれました。



なお、神御衣は  
新居浜市 大西 彌太郎 元老  
大阪府茨木市 矢野 棟子様  
また、お餅は  
徳島県 東予崇敬組合  
徳島支部 支部長 武田喜善  
名誉部長  
愛媛県 原井川平 神鏡笏  
大分県 軸丸貞子 元老大顧問  
大分県 成迫重太 副取締  
また、タオルは  
今治市 岡本行成 金笏

の方々にご奉納頂きました。有り難うございました。



福木投げの当選者  
特賞一等 Buryapプレイヤー  
大分市 江藤 友広様  
特賞二等 三合炊き炊飯器  
松山市 豊田 綾香様  
特賞三等 電子レンジ  
西条市 伊藤 恵美子様  
特賞四等 ITB外付HD  
宇和島市 鈴木 美智代様  
特賞五等 サイクロンスティックククリナー  
三豊市 曾根 修様  
特賞六等 天体望遠鏡  
新居浜市 小池 慎吾様  
特賞七等 ホットプレート

美馬市 中村 有希様  
特賞八等 セラミックヒーター  
吹田市 古賀 スミエ様  
特賞九等 トースターこんがり倶楽部  
広島市 初谷 知映子様  
特賞十等 スチームククリナー  
西条市 弓山 瀧吉様  
今年度も境内での西条剣道会の奉納剣道大会・石鎚敬神婦人会のお茶席のお接待はお休みしました。秋の例大祭からは天気に恵まれ通常開催できる事を期待します。今大祭で各方面にてご奉仕、ご奉納を賜りました豊友会、敬神婦人会、信徒の皆様方には、何かとお忙しいにもかかわらず、大神様の為と思いい誠心からのご奉仕をいただき、無事盛大に春季例大祭を斎行出来ましたことをこの場をお借り致しまして篤くお礼申し上げます、信徒皆様の今後益々のご健勝、ご多幸を心よりお祈りし、ご報告と致します。  
記 出仕 田窪 芳弘

四月六日

祖霊殿春季例大祭・合祀祭齋行

境内にある祖霊殿。石鎚山開

御案内

山の祖・役小角をはじめ社司・宮司、霊峰石鎚の為に力添えを戴きました先達・教師にて帰天されました方々をお祀りしており、毎年四月・十月の六日、午前十時より例大祭並びに合祀祭を齋行しています。

報願います。

春季例大祭は小雨が降る中、関係御遺族・神社役員のご参りを戴き齋行されました。

※祖霊殿春・秋例大祭のご案内は新祭神（合祀該当者）と過去三年以内に合祀された御遺族の方へ案内を差し上げております。

合祀されました御霊の在りし日の面影を偲び、思い出の数々を顧みる中に凜としたお姿、また皆を導く大きな背中、優しいお顔を思い出しながら御霊安かれと祈念致しました。先達・教師の皆様が築かれました篤き志を、また優しき御心を継がれますことをお祈り申し上げます。

春秋大祭・命日祭への数多くの御参列をお待ちしております。

この度合祀されました新祭神

●先達会符の名義変更などお済みでない御遺族様、またご不明な点等ございましたら遠慮無く神社までご連絡下さい。

ご紹介申し上げますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

令和五年 四月六日

祖霊殿合祀祭神名

元老大顧問

大会長

最高功労章 金莚

山崎 公 刀自命

中講義

打道 勲 大人命

副大取締役

元老大顧問

榎並 吉宗 大人命

功労章 銀笏

大訓導

先達 訓導

戸田 正一 大人命

合木 淳智 大人命

元老大顧問

(順不同)

功労章 銀笏

新居田 年夫 大人命

元老大顧問

権中講義

久川 兼喜 大人命

元老顧問

藤岡 正美 大人命

名誉部長

神谷 康昭 大人命



お初穂奉納者

四月五日

石鎚神社春季例大祭

五万円以上ご奉納いただきました皆様

《本社》

◎四拾五万円以上

福岡神和教会 佐伯 良子

◎参拾万円以上

大阪教会 湊 喜美子

◎貳拾万円以上

導不勲院遙拝所 岩崎 光照

◎壹拾五万円以上

大分石鎚教会 江藤 秀人

香春教会 川津 守秀

睦美教会 田窪 一善

吉見教会 加藤 法泰

◎壹拾万円以上

和食教会 安岡桂一郎

吉田教会 越智 汀祐

靈威教会 中西 幸男

葉山教会 岡村 信一

大分石鎚教会勝山遙拝所

大打山遙拝所 石崎 昌司

東雲講社 黒田 明子  
(株)浦松建設 浦松 大八

大分市 中西 幸男  
宇和島市 入江 伸明

今治市 小林興藏・久子

◎六万円以上

豊の国石鎚講社 姫野 昌訓

◎五万円以上

穂波教会 越智 節子

安芸教会 川西 久美

防府教会 山中 將史

山南嘉和教会 岡本 嘉孝

佐川教会 片岡 抄織

福山市 赤坂教会

神明遙拝所 大西サカエ

西条市 十亀 興美

石鎚登山口ロープウェイ(株)

伊藤 和豊

別府市 浦松 傳

習志野市 木村 篤子

(順不同・敬称略)

五千円以上のお初穂奉納者につきましては、本社手水舎前に掲載させていただきます。 文責 権禰宜 大岡

令和五年二月一日から

四月五日まで

五万円以上ご奉納いただきました皆様

《節分祭》

◎貳拾五万円以上

福岡神和教会 佐伯 良子

《本社》

◎壹百萬円以上

不動教会 伊藤 性一

◎壹拾万円以上

佐伯 妃未・佐伯 龍昇

◎五万円以上

尺間嶽教会 田島 大悟

横浜講社 大竹 文子

西条市 浅海 重子

(順不同・敬称略)

また、本社での五千円以上のお初穂奉納者につきましては、本社本殿前掲示板に掲載させていただきます。

頂上社護持奉賛会 寄付者 芳名簿

令和 五年 一月 一日から

令和 五年 四月 五日まで

※ 五万円以上奉納者

(順不同・敬称略)

◆高知崇敬組合◆

壹拾五万円

高岡郡 佐川教会

◆福岡崇敬組合◆

五万円以上

鹿島市 高木美和子

真心のご浄財を賜りました皆様には、ご奉賛心より厚くお礼を申し上げます。

尚、奉賛会は今後も継続しておりますので、ご協力をお願いいたします。

担当 大岡・岩本

### 投げ餅 ご奉納

為、石鎚神社本社 春の御大祭

東予崇敬組合 徳島支部  
支部長 武田喜善 名誉部長

去る四月五日、石鎚神社本社  
の春の御大祭「桜まつり」に、  
東予崇敬組合徳島支部の皆様  
が、投げ餅を奉納されました。  
石鎚大神様への献上の思いを  
込め、丹念に一つずつ作り上げ  
てのご奉納です。

皆様の笑顔のご奉仕に、大神  
様もお喜び、大祭当日は実に盛  
大な餅投げとなりました。

深く御礼を申し上げ、ご奉仕  
の皆さまのご紹介と致します。

権宮司 十亀 博行。

#### ご奉仕・餅米ご奉納者

- 武田 喜善・藤本 敏男
  - 平岡 明・平岡 武子
  - 藤本 幹世・藤本 仁奈
  - 藤本 悠織・星川 弘明
  - 住友 敬子・上田佐知子
  - 足立由美子・大崎 訓子
  - 尾形嘉代子・谷 英子
  - 石井富三子・渡辺 功子
  - 坂口 敏子・六車 君子
- (順不同・敬称略)

### お詫びと訂正

前号三、四月号の社報に掲載  
してありました記事の中で誤り  
がございましたので関係各位に  
深くお詫び申し上げ訂正させて  
いただきます。

九ページ

節分祭(二月三日) 追儺の儀奉  
納者一覧内

(氏名の誤り)

愛媛県

西条市

(誤) 山本 佳彦

(正) 山本 圭彦

(敬称略)

十二ページ

令和五年度星祭祈願お世話人御  
芳名内

(所属団体名の誤り)

【福岡県】

◎八五〇体以上

(誤) 田川教会・榎並 好美

(正) 福岡田川教会  
・榎並 好美

(敬称略)

記 権禰宜 高岡

## 預かり賽銭のお願い

### 「預かり賽銭」とは

石鎚神社・石鎚本教の三つ  
の大祭に於きまして、期間中  
にご参拝出来ない信徒の皆様  
が、ご代表様、お世話人様に  
代理参拝をお願いし、皆様方  
のお賽銭をご奉納頂く事です。  
この「ご奉納」を通じて、  
より多く皆様方に、大神様の  
ご神徳を拝受して頂きたく存  
じます。

各教会・遙拝所・講社のご代  
表様は、御神徳発揚の為、一人で  
も多くの信徒皆様方へ、ご協力  
をお伝えして頂きたく存じます。

また、各教会・遙拝所・講  
社に所属の皆様方は、ご代表  
様、お世話人様にお尋ね下さ  
い。お世話人様をご不明な方  
は、本社へご連絡をお願いし  
ます。

### 春季例大祭

毎年四月四日～七日

(例大祭は五日)

### 夏山開き大祭

毎年七月一日～十日

### 秋季例大祭

毎年十月四日～七日

(例大祭は五日)

◎お供え頂いた「預かり賽銭」の  
初穂料により、大祭毎に定めら  
れた御神札をお世話人様へお預  
け致します。後ほどお受け取り  
いただき、お祀りくださいませ。

※預かり賽銭の帳面は、大祭  
の約二ヶ月前までにはお届け  
いたします。

お問い合わせ先

愛媛県西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

TEL 〇八九七―五五―四〇四四

FAX 〇八九七―五五―七二四二

## 【御山開き大祭 神事は例年通り 齋行します】 令5.4.15.

# お 山 に 行 こ う ！ ！

霊峰石鎚山 お山開き大祭は、例年通り齋行します。  
[新しい時代をつくる!]

○頂上社、成就社、土小屋遥拝殿、本社にて、神事を例年通り厳修します。

**お誘いあわせご参拝を！ 感謝とお祈りをしましょう！**

○7月1日～15日は、本社境内の疫病除け「夏越の茅の輪」をご参拝ください。

### ◇大祭中の御神像御動座、及び、諸応対

- ・御神像御動座 本社 ⇄ 成就 ⇄ 頂上
- ・6月30日、7月11日、氏子青年団のご奉仕。
- ・7月 1日、東予、大分、中予の崇敬組合を主体にご奉仕。
- ・7月10日、備後、西条周桑の崇敬組合を主体にご奉仕。
- ・**ご希望の方のご奉仕を募り、厳粛に勇壮に齋行します。**
  
- ・御神像拝戴 頂上社、成就社、土小屋遥拝殿、本社で、通常に齋行します。
- ・女人禁制 7月1日、厳守します。
- ・登山切符 **窓口を開設。登拝のリボンをお渡しします。**
- ・成就社 組合 窓口を開設。昇進、新会符等の受付を行います。
- ・土小屋 組合 例年通りに開設。同上。
- ・救護班 現在、ご奉仕を依頼中です。
- ・預かり賽銭 各所、窓口にて受付します。本社への郵送もお受けします。
- ・初穂料 同上。
- ・御祈祷 同上。
- ・お守り、御神札 [頂上社専用の御神札、お守り]は頂上社、[成就社現参守]は、成就社のみでの授与です。ご参拝の上、お受けください。
- ・頂上献酒 現在、受付しています。
- ・現参之儀 現参守は、現参之儀を受けた方のみ授与します。
- ・当病平癒祈願祭 成就社にて齋行します。組合長経由にてお申込みください。
- ・頂上山荘 大祭中の宿泊は休止します。昼食、売店は通常に行います。
- ・神社会館 宿泊、昼食、売店、全て通常に行います。

### ◇大祭中の新会符、先達昇進、教師昇進のお申込みは、成就社、土小屋遥拝殿へ。

[令和5年4月15日現在。世情により変更する場合があります。]

「祈り、命蘇る」霊峰石鎚山のお山開き大祭が目前に迫って参りました。  
 頂上社では頂上社専用の御神酒(一升紙パック)のご奉納を募っております。  
 ご希望の方は下記に住所・氏名・電話番号・登拝日・郵送先をご記入の上、本社へFAXもしくは郵送にてお申し込み下さい。  
 大祭後、お下がりを送送いたします。準備の都合上、締切は六月二十日とさせていただきます。

初穂料 金一〇、〇〇〇円



お山開き大祭 頂上社 御神酒奉納のご案内

お山開き大祭中、頂上へご登拝されます方は、登拝日もご記入下さい。

※毎年奉納されています方へは例年通りご案内を発送させていただきますので、そちらをご活用下さい。

申込先

〒七九三―八五五五  
 愛媛県西条市西田甲七九七  
 石鎚神社頂上社御神酒奉納  
 担当 権禰宜 勝本貴大  
 TEL〇八九七―五五―四〇四四  
 FAX〇八九七―五五―七二四二



お山開き大祭 頂上社 御神酒奉納 申込書 令和 年 月 日

代表者	氏名		住所	
-----	----	--	----	--

〒

御神酒奉納者名簿

初穂料合計一金 円也

氏名		電話番号		郵送先 (〇をお付け下さい)
住所	〒		登拝日	直送・代表者へ
氏名		電話番号		郵送先 (〇をお付け下さい)
住所	〒		登拝日	直送・代表者へ
氏名		電話番号		郵送先 (〇をお付け下さい)
住所	〒		登拝日	直送・代表者へ

1件(1人)につき10,000円

◎送金方法 ①郵便振替 ②銀行送金 ③現金書留



**第七十三回** (令和五年三月三日) (五日開催)  
**石鎚本教所属教師講習会** 開催!



第七十三回石鎚本教所属教師講習会が、全国より約五十名の参加を得て、三月三日から二泊三日の日程にて開催されました。



開講奉告祭

本年、第一回目より数えて七十三回目を迎えました。開講式では、武智正人宮司・管長より「本教教師の心得」、十亀博行権宮司・宗務局長より「神社本教の概要」の講話を頂きました。

第一日目は基礎作法の鍛錬、

第二日目は祭式行事作法の円熟につとめ、最終日第三日目は、講習会の習熟度を見させて頂く為、講習生を二組に分け、全員に祭典の所役を割り当て、各組二十五名ずつ総勢五十名の祭員による、大祭式

によります終了奉告祭を斎行させて頂きました。



作法の鍛錬

さらに第二日目・三日目の朝六時より日も開けない暗闇の中、今日一日をしつかりと精進するため禊場にて禊を行いました。

行場にて流水の力を頂く面々が、御神前奉仕に先立ち心身を浄め、罪穢れに惑うことなくご奉仕出来ることを念じ、身をさす冷水を頂きました。

また、本年の講習会では、基礎作法と行事作法を中心にひたすらに反復練習に励み、祭儀の重要な所役である祓主・大麻所役・塩場所役の解釈と説明、併せて実践に努めました。本講習会におきまし



終了奉告祭 献饌



終了奉告祭 修祓

ては、祭式行事作法の習熟に努めつつ、常日頃ご奉仕する教会・遙拝所・講社等の月次祭また祭典に活かす事を念頭に置き、各個人の教師としての心得を再確認する講習でもあると考えております。



終了奉告祭 齋主 祝詞奏上

来年の講習会は、第七十四回を迎えます。これまでに石鎚本教所属教師を全国各地に約千六百名以上輩出させて頂きました。これも単に、石鎚大神様のお導きでありご威光の賜物であると確信しております。これからも信徒の皆様方の中より、全国の教会、遙拝所、講社等で石鎚大神様の御教えをお伝え頂ける教師の方々が輩出されますことを切にお願い申し上げます、ご報告申し上げます。

記 権瀬宜 曾我部洋輔

令和五年

霊峰石鎚山お山開き大祭

幟旗奉納者募集(三十本限定)



【奉納場所】

○頂上社周辺 十本

○二ノ鎖小屋周辺 六本

○本社本殿周辺 十四本

【奉納料】

○金、五千円也(一本)

※奉納場所は先着順にてお受けいたしますが、ご希望に添えない場合はご了承下さい。

※荒天時は幟を格納する場合があります。

※申込をいただきましたら、振込用紙を送付させていただきます。

※ご不明な点は、お問い合わせ下さい。

TEL 089715514044

(担当 権瀬宜 大岡)

# 高知県崇敬組合 総会の開催案内

恒例の高知崇敬組合総会が左記にて執り行われますのでご案内いたします。

教会に所属していない方の参加も可能ですので、参加希望の方は組合長までご連絡ください。  
多くの方々のご参加をお待ちいたしております。

記

【日 時】 六月十一日(日) 十時三十分 役員会

十二時 総会

【場 所】 高知会館 高知県高知市本町五―六―四二

【内 容】 事業報告 会計報告 監査報告 次年度事業報告

(お問い合わせ)

高知県香南市野市町西野三七〇―三

高知崇敬組合長・土佐野市教会長

出原 孝文

電話 〇九〇―七―四四―八〇二四

# 高知県崇敬組合 作法講習会の開催案内

恒例の高知県崇敬組合主催作法講習会が、本年も左記の日程にて開催されることが決定されております。

詳細につきましては、六月中に案内状を高知県下の教会・遙拝所にご送付申し上げます。  
多くの方々のご参加をお待ちいたしております。

記

【期 日】 七月十五日(土)～十六日(日)の二日間

八時三十分より

【申込締切】 六月三十日

【場 所】 高知県安芸郡芸西村西分甲三〇―一―一 和食教会

連絡先 〇八八七―三三―二六〇五

【受講料】 一名 五〇〇〇円(教材費・食費等別途)

【持参品】 笏・白衣・白袴・足袋・祭式大成・筆記用具等

※教会・遙拝所に所属していない方は、高知崇敬組合長の承認を戴いてください。

(お問い合わせ)

高知県香南市野市町西野三七〇―三

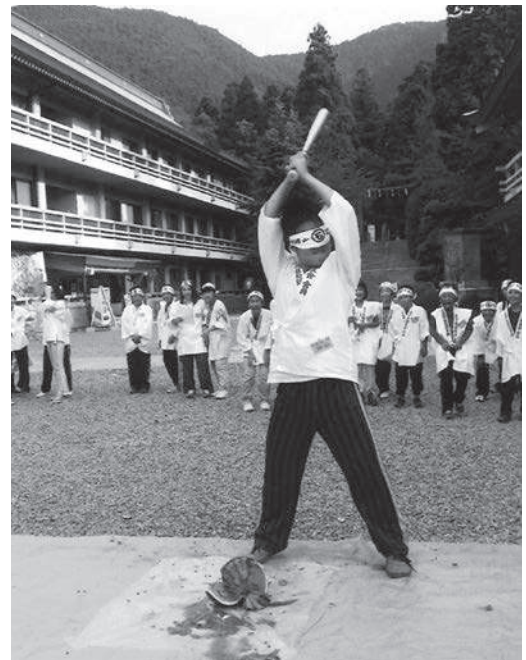
高知崇敬組合長・土佐野市教会長

出原 孝文

電話 〇九〇―七―四四―八〇二四

# 第56回石鎚青少年錬成会

石鎚青少年錬成会を通じて、一人一人の参加者が、心・身体・考える力を一緒に育んで研鑽し、「やさしさ」「かしこさ」「たくましさ」をテーマに、参加する全国の仲間と共に喜びを分かち合う林間学校を開催しております。西日本最高峰の石鎚山登山・宿泊をメインに「本社境内探検」「灯火の集い」「感謝会」等の行事を計画し、集団生活に於いて、職員・青年部・ご参加の皆様と一緒に、笑い・共感しながら充実した3泊4日を過ごしたいと思います。皆様方に於かれましては、多数のお子様呼びかけて頂き楽しい錬成会が開催出来ますようご協力お願い致します。



※写真は平成31年以前の様子です。

## 第56回石鎚青少年錬成会 ご案内

日 時	令和5年8月17日(木)～8月20日(日) 8月18日(金) 石鎚山頂上山荘宿泊
集合場所	石鎚神社会館
集合時間	8月17日 午前8時30分
資格	小学校3年生以上
会費	一人8,000円 本来の会費は一人10,000円ですが、組合・教会・遙拝所等所属のお子様方の育成を念頭に入れ、敬神婦人会員より参加費一人につき2,000円助成頂いております。 *引率者(保護者)の参加希望の方は事務所へご連絡下さい。
定員	20名先着順
旅費	片道運賃支給(学割使用)
申込	当社の組合・教会・遙拝所等に所属されております、お子様方の育成の講習会です。
持参品	筆記用具・洗面用具・運動靴(スパイクシューズ不可)・下着・雨カッパ・長袖シャツ・Tシャツ・水筒・ジャージ(色物可)・帽子・リュックサック・ウインドブレーカー・タオル・会符(所有の方)・保険証(コピー可)・帽子用防虫ネット(必要な方)
※食事	<u>アレルギーをお持ちのお子様に対応出来かねます。</u>

- 女子はみそぎ用に下着(白かベージュ)を余分に用意下さい。
  - お小遣い五千円まで(成就・頂上の自由時間に買い物を持参する場合があります)
  - 登山時の着替え用として(ジャージ下・下着・靴下・Tシャツ・タオル) 日程必要数プラス一枚の準備をお願いします。
  - 飲み薬・コルセット・サポーター等、体調管理に必要な備品は持参して下さい。
- (参考) ○令和4年8月15日 石鎚山頂上の気温 朝18℃ 昼23℃  
必ず長袖のシャツ・ウインドブレーカー等を持参下さい。

### 申込期限

7月31日(月)迄

※不明な方は本社までお問い合わせ下さい。

〒793-8555

愛媛県西条市西田甲797

錬成会事務局 担当 / 曾我部洋輔 電話 0897-55-4044

**成就社 八大龍王社例大祭 ご案内**

・日時 八月八日(火) 午前十一時

祈願木お焚き上げ

大祓詞・般若心経 奉読

・祈願木は成就社・本社にて一本三百円にて頒布しております。



例大祭ご参列の方に、八大龍王社の例大祭御神札を授与しております。盛大な祭典となりますよう、多くの方のご参拝をお待ちしております。

**令和5年 石鎚神社会館・頂上山荘 予定**

令和5年4月13日現在

みなさまのご利用をお待ち申し上げます。

石鎚神社会館	4、5、6月	御山開き大祭中	7月11日～
宿泊	営業	営業 定員 200 名	営業
昼食	予約応談	予約応談	予約応談
売店	営業	営業	営業

**石鎚神社会館 0897-55-4168 荒井・松木**

頂上山荘	4、5、6月	御山開き大祭中 6月30日～7月10日	7月11日～
宿泊 定員25名	営業	休止	営業
昼食	平日、カレー・おにぎり 土日祝日、通常営業	通常営業 7月1日も営業あり	平日、カレー・おにぎり 土日祝日、通常営業
売店	営業	営業	営業

**頂上山荘 宿泊予約専用 080-1998-4591 人見・渡部・片川**

令和5年 御山開き大祭 御神像奉持  
 しゅらい  
**習礼 (予行演習) 参加者募集中!!!**

本年度 奉仕予定組合 7月1日 東予・大分・中予  
 7月10日 備後・西条周桑

※本年は、口ノ宮本社で習礼を行います!!



本社習礼場



令和4年 習礼風景

御神像奉持のあり方を知って頂きたく、後継者育成のために、今後の御神像奉持へご奉仕を希望する方への [御神像奉持の習礼 (予行演習)] を行います!!

**所属の組合長にお申し出ください。組合長は、本社へ名簿をお届けください。**

- ・ 20代30代の先達で、本年、御神像奉持の奉仕を希望される方。
- ・ 霊峰石鎚山の [お鎖り掛け、上り下り] を行います。
- ・ 習礼、大祭当日とも、大自然での行動ですので、自己責任にてお願いします。
- ・ **締め切り、5月15日厳守。(※参加者が20名未満の場合は中止とします)**
- ・ 前日の宿泊を希望されます方は、ご相談下さい。

**予 定 5月21日 (日) 11:00 本殿集合・拝礼後、習礼を開始、終了後解散  
 (昼食のお弁当を準備します)**

**服 装 御山衣の上下**

**お申し出を  
 頂く内容**

・ 氏名・住所・会符番号・電話番号・生年月日  
 事前申込、必須。交通費は各自ご負担ください。

# 南予崇敬組合総会 開催

〔日時〕 令和五年三月十二日  
〔場所〕 大洲市

龍雲山肱川教会にて

組合長

山内 康治 元老顧問



〔祭典〕 十時齋行  
〔総会〕 十一時開催  
〔出向者〕 武智宮司  
十亀権禰宜  
野村巫女  
沖野常務総代

南予崇敬組合総会・祭典が大洲喜多支部のお世話により、南予崇敬組合の役員他約三十名がご参集され執り行われました。総会前の祭典に於いては、肱川教会の教師が祭員となり本社職員と共にご奉仕され、清々し

さの中で祭典を納めることが出来ました。

総会では、事業報告・決算監査報告・次年度事業案・予算案を審議、直会も行われ、様々な意見交換の場となり有意義な会となりました。



本年は、組合管内の教会・遙拝所の大祭等は例年通りに戻して行われる旨の報告がありました。大変喜ばしい限りです。

今後南予崇敬組合の今後益々のご発展と、関係各位のご健勝を祈念し、ご報告と致します。次回は伊予市伊予郡支部の担当開催となります。

記 権禰宜 十亀

# 東予崇敬組合協議員会開催

〔日時〕 令和五年三月十九日

〔場所〕 サンメッセ香川

〔本社出向〕

- ・ 武智宮司
- ・ 平岡明常務総代
- ・ 湊常務総代
- ・ 曾我部洋輔権禰宜

東予崇敬組合長  
藤本 敏男  
名誉部長  
少教正



右記の日程により東予崇敬組合協議員会が開催されました。組合長代行、本社、本社役員の挨拶の後議事へと続きます。

議事

- 組合の役員補充について
- 本年度の夏山開きについて
- 組合大祭について
- 予算について
- その他

組合の役員補充については、辞任した河端前組合長の後任に藤本敏男脇町遙拝所長が就任、副組合長は続投となりました。

本年度の夏山開きについては、組合長が初めての奉仕の為、大人数の昇進は事前に知らせてほしいとの要望がありました。組合大祭は秋に脇町遙拝所で行う予定です。予算については、三年前の予算決算を確認して決めることとなり、議事は終了。

同会場にて直会が和気藹々と行われ、協議員会は終了となりました。

今協議員会にて新たに就任しました藤本敏男組合長を扇の要に、東予崇敬組合の益々のご発展、皆様のご多幸を祈念し、ご報告とさせていただきます。

権禰宜 曾我部洋輔



三月二十六日  
石鎚神社  
備後崇敬組合  
令和五年度  
定例総会 開催



西原 善久 組合長

去る三月二十六日(日)広島県福山市の赤坂教会において午前十時より石鎚神社備後崇敬組合定例総会が三年ぶりに本社出向にて開催されました。

当日は、朝から花冷えの冷たい雨が降る天候の中、昨年新たに組合長とられた、西原組合長を始め備後崇敬組合管内各地より本部役員評議員十五名が参加。本社よりは、武智宮司と大岡権祐宜が出席し、岡本副組合長を議長として総会が執り行われました。

総会は、約一時間半ほどお山開き大祭を中心に令和四年度事業報告並びに収支決算報告や令和五年度事業計画や予算案を審議承認。そしてこの度、備後管

内に新たに三つの講社が設立され、宮司管長より承認証が手渡されました。

【新講社設立】

- 岡山県井原市美星町 蔵王美星講社 木尾 辰美 殿
  - 広島県尾道市栗原町 蔵王藤鷹講社 藤原 健司 殿
  - 広島県福山市東深津町 蔵王薬師講社 大瀧 清延 殿
- 今後の石鎚信仰徒拡充とご活躍をご期待いたします。

その後、懇親会が催され終始和やかに終了いたしました。備後崇敬組合が今年のお山開き大祭においてお下り一番の御神像奉持をご奉仕いただくこととなり、お山開き大祭が盛大且つ有意義に斎行されますこと、備後崇敬組合の益々のご活性、信徒皆様のご健勝とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

権 祐 宜 大岡 記



石鎚敬神婦人会  
橘支部総会 開催



【新役員のご紹介】

- 右側より
- 吉田明美 副支部長(留任)
- 難波江千春 新支部長(新任)
- 高橋美智子 会計(留任)
- (当日欠席)
- 松木洋子 副支部長(新任)
- 工藤春子 副支部長(新任)

去る令和五年四月十三日(木)午前十一時より、石鎚神社会館一階におきまして、橘支部総会が行われました。

通常ですと、二年に一度行われていましたが、コロナ禍となり令和三年の総会は書面会議となり、一同を会しての開催は四年ぶりとなりました。

本年三月の役員会におきまし

て、支部の役員改選が行われ、佐伯良子前支部長から、難波江千春新支部長へ引き継がれることが決まり、総会に諮ることになりました。

今般の支部総会には、約三十名の参加を頂きました。

開式の辞の後、佐伯支部長がコロナ禍で通常の活動が出来ない中、毎月十五日の境内参道の清掃奉仕を行い多くの会員が参加してくれた事、昨年久しぶりの研修旅行を行ったことへの感謝を述べられました。

今総会での主な議題としては、役員改選の件、新役員体制における連絡網と連絡担当者、班長の紹介と確認、令和六年の支部研修旅行の実施予定とご案内、支部における事業計画と分担、担当者の再確認、本部よりは、敬神婦人会本部創立五十五周年の内容の確認報告、本社より夏山大祭を始め春秋の大祭のご奉仕とご協力のお願ひもさせて頂きました。

今期の支部総会も円満にましまり、閉式の辞をもって終了致しました。

総会後の直会はお弁当の持ち帰りとなりましたが、終始和やかな雰囲気の中、今総会を恙なく終えました。

記 権 祐 宜 十 亀 雅 史

# 中村遥拝所 開所十周年奉祝記念大祭 齋行

元老顧問・権中教正

森田 茂 遥拝所長



令和五年二月二十五日午前十一時より高知県四万十市有岡の里に鎮まり坐す石鎚神社中村遥拝所創立十周年奉祝記念大祭が齋行されました。

本年は遥拝所を創立してより十年の節目を迎えられたこの良き日に、本社より十亀権宮司、野村巫女、片岡が出向し、創立十周年の奉祝大祭を信徒の皆様とともにご奉仕をさせていただきます。

迎えた大祭当日の天気は、石鎚大神のお陰もあって好天に恵まれ、冬の寒さを感じつつも暖かな日射しを浴びながら、厳粛に祭儀が執り行われ

ました。

祭典開始に先立ち、まず開式太鼓と信徒の皆様による法螺吹鳴が行われ、勇壮な法螺貝の音色が齋場に響き渡りました。

祝詞奏上では森田遥拝所長が石鎚大神へ祝の御年を迎えられての喜びと感謝、そして今後の遥拝所の益々の発展と信徒の皆様のご健康と弥栄を祈念し、祝詞を奏上されました。



祝詞奏上のは後には、琴の奉納演奏が御神前にて奉仕され、

「さくら」「うれしいひなまつり」「ふるさと」の三曲を奉納されました。麗しくも壮麗な琴の音色が遥拝所内に満ち溢れ、より一層祭典の厳粛さを引き立てて頂きました。



祭典後には、所長・信徒の皆様にご挨拶・先達の昇進辞令伝達、並びに感謝状の贈呈が行われました。その後、御神像拝戴神事、そして餅撒きが行われ、十周年記念大祭を盛大に御祝いしました。

その後、遥拝所近くの集会所にて直会が行われ、和氣藹々とした空気の中、恙無く祭典を納められた事の喜びを分かち合いました。

今後も森田遥拝所長を扇の要とし、また信徒の皆様が石鎚大神の益々の御守護とお導きを賜り、手を取り合い一丸となって崇敬の念を捧げて頂ければと思います。

中村遥拝所の今後益々の弥栄と信徒の皆様のご健勝ご多幸を祈念しつつ、教師並びに先達昇進辞令、及び感謝状の下付のお名前を併せ報告とさせていただきます。

### 【本教師昇進】

権中教正 森田 茂

少教正 森田 るみ

### 【先達昇進】

特選部長 尾崎 真由

大会長 有岡 言悦

大取締役 尾崎 元紀

副大取締役 出口 悟

副大取締役 出口 絢子

### 【感謝状】

遥拝所長 森田 茂

有岡 言悦

尾崎 真由

尾崎 元紀

榮 勇男

三松 美佐

熊岡香代子

(順不同・敬称略)  
記 権瀬宜 片岡

愛媛県

# 伊台石鎚遙拝所 六十五周年大祭齋行

元老大顧問

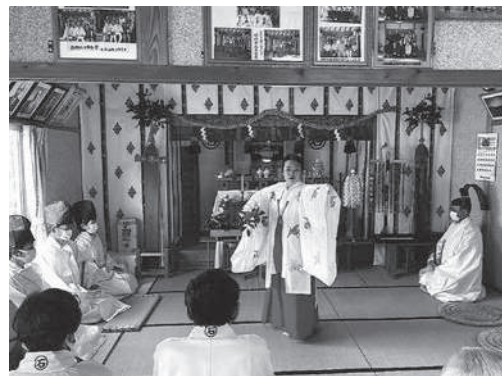
少教正

山本 征壽 遙拝所長



去る三月十八日、愛媛県松山市上伊台の地に鎮座いたします伊台石鎚遙拝所に於きまして創立六十五周年の奉祝大祭が斎行されました。

当日は地元より菊池伸英愛媛県議会議員、向田将央松山市議会議員を始め中予崇敬組合管内の関係者、遙拝所の信徒の方々が多数集い、本社より武智宮司、高岡権禰宜、小西巫女、十亀常務総代が出向し賑やかに祭典が執り行われました。



当遙拝所は昭和三十年代に松山市和気の方より御神像を譲り受けたのが始まりとなり伊台崇敬会として約二十年間個人宅で時々にお祭りされてきました。その後、遙拝所用の土地の提供（吉岡喜雄氏より）があり、昭和四十七年には現在の遙拝所として承認、設立され、初代山本高次所長より連綿と受け継がれ、崇敬

会当初より関わりのありました現遙拝所長は六代目にあたります。

祭儀には昔馴染みの方より子供さん迄、幅広い層の参列者が来られ、コロナ以前の姿を取り戻しつつある中で直会も行い、遙拝所長さんの人柄と同じく終始穏やかな雰囲気の一日となりました。

今後も遙拝所に関わる皆様にご健勝、ご多幸であります様、また、大神様の恩恵を受けられ、遙拝所が弥益々に栄えられます様お祈り申し上げます。

記 権禰宜 高岡



感謝状(順不同・敬称略)

- 山本 征壽
- 神野 武夫
- 石田 絹恵
- 豊田 綾香
- 山本 綾子
- 木戸 子
- 山本 典美
- 神野 千代子

先達昇進辞令(敬称略)

- 副大監長 向田 将央
- 大取締 向田 枝美

群馬県

# 宝光山関東石鎚教会

## 宗教法人取得・等級昇格 記念大祭斎行

元老大顧問  
大講義  
富田 直幹 教会長



祭典日

令和五年四月九日

鎮座地

群馬県渋川市渋川

字折原三七八五番地一

教会等級

三 等

(令和五年四月九日付

発令)

去る四月九日、宝光山関東石鎚教会に於きまして宗教法人取得・教会等級昇格の奉祝記念大祭が斎行されました。



当教会は前身である妙気会石鎚神社参拝講社が平成十三年に設立され、同年には夏山大祭中の登拝を開始、平成二十六年には多大の功労を認められ、現在の教会の設立が叶い、更に令和元年には、予て

より探し求められていた地(現教会所在地)に新社殿が完成、本年の二月には県より法人格の取得も認められ、現在に至っています。また、当教会長は気学にも精通しておられ、石鎚神社本社に於きまして石鎚本教所属教師講習会の講師、気学講習会の講師として教授いただいた事もございます。



当日は教会の信徒、関係者は元より北は北海道、南は九州より縁深い方々が多数集う中、本社より十亀権宮司、高岡権禰宜、中西名誉顧問が出席し盛大に祭典が執り行われました。

直会では、場所を移動し、由紀さおり様を始め引き続き参列者の方々と共に親睦も深め、賑やかに笑顔多い、晴れ

の日に相応しい陽気な一日となりました。

今後教会に関わる皆様のご健勝、ご多幸であります様また、大神様の恩恵を受けられ、教会が弥益々に栄えられます様お祈り申し上げます。

記 権禰宜 高岡



# 直轄大教会 開山百周年 教会創立七十五周年奉祝大祭 盛大に齋行 齋行日 令和五年四月十日

教会長

入江 申明

元老  
少教正



直轄大教会は、大正十三年に開山され遙拝所を造営。その後、昭和二十七年に直轄大教会が創立されたが、平成十二年三月二十三日に不審火により建物は焼失した。現教会の敷地は大野氏より寄付され、平成十四年四月に新築落成した。大勢の信者は、焼失後地に奥の院としての建設を夢見、教会を心の拠り所として繁栄を願っている。  
(本教六十年史参照)

春暖の風を感じながら、教会役員・信徒の晴々とした笑顔に迎えられ、宇和島市に鎮座いたします直轄大教会に於きまして、開山百周年・教会創立七十五周年奉祝大祭が盛大に齋行されました。

【本社出向】

武智宮司管長

十亀権祢宜

小西巫女

沖野常務総代

田窪常務総代

当日は、梶川・西原両参与、山本中予崇敬組合長を始め、愛媛県の近隣教会会長・遙拝所長、教会役員・先達他約三十名の信徒等が参列。

また、入江教会長が懇意にされている「石鎚神社氏子立螺之会」「伊豫神楽（国指定重要無形民俗文化財）」の皆様も参列されました。



教会長祝詞奏上

祭典では、開式太鼓に合わせ「氏子立螺之会」の皆さんの法螺の音が響き渡り、齋主入江教会長の真心こもる奉仕の中祭典は進行されました。



教会長の祝詞では、七十五周年の長きの間、良いことばかりではなく様々な出来事があった中、大神様のご守護を戴き、本日まで信者の皆さんと苦楽を共に歩んでこられたことへの感謝の真心を奏上され、その感謝の気持ちは齋主のみならず祭員・参列者一同からも感じられました。



宮司管長祝詞奏上

また、「おかんこ（男神子）神楽」とも呼ばれている「伊豫神楽」の勇壮で繊細な舞も奉納され、祭典に華を添えて戴きました。



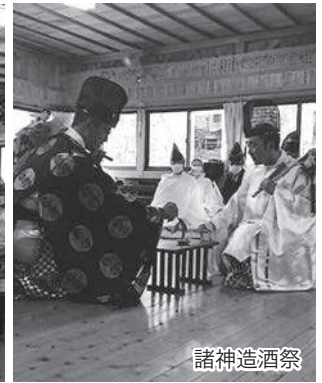
妙剣之舞



神体細女之神楽之舞



喜余女手草之舞



諸神造酒祭



玉串礼拝

神楽奉納後は、参列された全ての皆さんが玉串を捧げ、感謝と祈りの誠心を込めて拝礼をされました。

閉式太鼓の後は、祖霊社に於いて、開山から今日までご尽力を戴いた祖霊の御霊へも感謝とこれからも変わることのない御守護をお祈り致しました。



巫女舞

祭典後には、これまで教会に対し誠心誠意ご奉仕された皆様に本社から感謝状が贈呈され、松岡前教会長の令夫人の松岡莊美さんが、涙を流しながら参列の皆さんへ感謝の言葉を述べられていました。

また、先達教師の昇進辞令伝達も行われました。

教会長の挨拶では、周年は区切りではありませんが、終わりではなく始まりです。少しずつ参列される方を増やしていき、信徒で賑わう教会にしていきたい、との話もありました。

その後、御神像拝戴が行われ、直会ではコロナ禍前を彷彿させる程の終始賑わい和やかな中、奉祝大祭を納めました。

今後も、教会の益々の御発展と、教会長を始め、役員・信徒皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ報告と致します。

記 権瀬宜 十亀雅史



※感謝状贈呈者芳名

入江 伸明 松岡 功

松岡 莊美 榮本 常生

武田 勲

※先達昇進辞令伝達者芳名

名誉部長 山下 泰作

名誉部長 永井 弥七

名誉部長 岡田 広

副大取締役 土居 和宏

取締役 音地 つぐみ

※教師昇進辞令伝達者芳名  
少教正 入江 伸明

(順不同・敬称略)

# 脇町遙拝所開所三十周年奉祝大祭 齋行

【日時】 四月十六日(日)  
午前十時三十分

【場所】 徳島県脇町遙拝所

【本社出向】

曾我部洋輔権禰宜  
野村巫女

藤本敏男遙拝所長  
元老  
少教正



右記にて脇町遙拝所三十周年奉祝大祭が斎行されました。当日は春暖とはこのこと、と言わんばかりの良い天気恵まれる中での祭典となりました。

祭典では、御扉が開かれ、日頃の御加護と開所三十周年を迎えられたことへの感謝の心を遙拝所長、宮司が申し上げ、巫女による豊栄の舞の奉納の後に、地元脇町木ノ内獅子舞保存会の皆様により獅子舞の奉納がありました。宮司、遙拝所長が玉串を捧げた後に、祭典に参列されている皆様の日頃の感謝を込めた玉串を捧げ祭典は滞りなく終了。



祭典の後に本社より感謝状の贈呈、先達教師の辞令発令が行われました。

その後に福餅投げが行われました。この餅投げに使われたお餅は前日に遙拝所の皆さんが作られたと聞いております。遙拝所の皆様の真心がこもったお餅、これを受け取った方々に沢山の福が訪れることを御祈念致しております。直会では、来賓の方々、遙拝所の方々とも美味しい食事を頂きながら和気藹々と話されました。

今回、脇町遙拝所は開所三十周年の目出度き節目の年を迎えられました。今後も藤本遙拝所長を扇の要として遙拝所が益々栄えますことと、遙拝所に関わる皆様のご健康ご多幸を祈念しまして報告とさせていただきます。

- |       |        |
|-------|--------|
| 感謝状   | 藤本 敏男  |
| 盛岡 政和 |        |
| 辞令    |        |
| 先達昇進  | 藤本 敏男  |
| 元老    | 奥野 洋保  |
| 元老    | 藤本 孝一  |
| 特選部長  | 藤本 孝一  |
| 監長    | 三好 秀晴  |
| 教師昇進  |        |
| 権中講義  | 星川 弘明  |
| 少講義   | 盛岡 政和  |
| 権大訓導  | 藤本 孝一  |
| 権大訓導  | 盛岡 百合香 |



記 権禰宜 曾我部 洋輔

職員 永年勤続表彰  
 勤続三十年 四月一日  
**佐々木規人 権禰宜**



佐々木規人権禰宜が勤続三十年を迎え、永年勤続者表彰規定第二種により表彰を拝受した。昭和四十三年生、大分県出身。熱心な石鎚信仰者の家庭に育ち、所属の大分石鎚教会より青少年錬成会、石鎚青年部を経て、左記経歴を以て現在に至る。

- ・皇學館大学神道学科卒
- ・福岡県御鎮座の住吉神社奉職
- ・平成五年石鎚神社権禰宜拝命
- ・平成二十八年

神職身分二級(紫袴) 拝命  
 本殿課長(四月一日現在)

御山信仰に一筋。明朗、実直。物事を俯瞰する広い視野を持つ。日々早朝より境内清掃に独り黙々と務め、奉職以来、夏山大祭前の頂上荷揚げには全て参加し大祭に深く思いを掛ける。精勤に感謝し、以て益々の精進を期するものであります。

文責、武智。

**新入職員紹介**

神社会館事務長  
 頂上山荘 担当

**荒井 健文**



此度、石鎚神社会館事務長と云う重責を担うこととなりました。現状を把握するに従い、多数の改善、改革すべき点を見出しました。しかしながら、それら改善、改革案を実行する前に先ずは現状復帰を行わなければなりません。

整理(不要物の除去) 整頓(保管場所の明確化) 清掃(何時でも使用できる状態) 清潔(その状態を維持) 躰(皆がその意思を共有する)。

単純ではありますが、これらは日々こつこつと地味に続けていくしかないものと思われれます。皆様のご指導、ご鞭撻をどこまで生かせるものか不安ではあります。その職に恥じぬよう努めていく所存です。

温かく見守って頂ければ幸甚に存じます。

神社会館  
 頂上山荘 担当

**松木 妙子**



三月より入職しました松木と申します。前職は事務職でしたが、バスガイドや司会などサービスマンに多く携わって来ました。子供の中学入学を機に人と接する仕事に戻りたいと探し始めた途端、出会う事ができました。

神社の事は何も知らず日々勉強の毎日ですが、新しい事へのチャレンジにワクワク楽しく過ごしています。目立って取り柄はありませんが、持ち前の明るさと笑顔で何度も足を運びたいなる会館を目指します。てんでんグッズもどんどん増やし、てんでんイベントも考えています。てんでん共々よろしくお願致します。

神社会館  
 頂上山荘 担当

**片川 真宏**



この度、石鎚神社会館、主に頂上山荘で勤務する事になりました。片川真宏です。

出身は広島県ですが、四国を歩きお遍路でお参りした事をきっかけに、四国の自然に魅せられて、愛媛県に引越してきました。当初は違う仕事をしていたのですが、石鎚山に何度も登るにつれ、ご縁がきっかけに、頂上山荘で働く事になりました。

「石鎚山の魅力」をみなさんと発見していきたいと思っております。

よろしくお願致します。



## 特別企画 ～誇り高き伊予の高嶺～ 石鎚の恵みを巡って

西条に暮らす人々にとって、朝な夕な仰ぎ見る石鎚山は心の拠り所となる原風景です。

そこは豊かな生態系に恵まれ、また、山岳信仰、四国遍路の巡礼の舞台、

石鎚黒茶など独自の習俗が生まれ、受け継がれています。

その「石鎚山」について、地質学・生態学・歴史・民俗学等、幅広い視点から読み解きます。

期間中は山岳写真家・三浦<sup>さとし</sup>聖氏の石鎚の写真を同時展示します。

### 開催概要

期 間	令和5年6月6日(火)～8月31日(木)
時 間	9時～17時(入館は16時半まで)
会 場	西条郷土博物館 1F (〒793-0023 西条市明屋敷 237-1 TEL0897-56-3199)

### 講演会のお知らせ

6月17日(土) 13:30～

「奉納物に石鎚信仰の歩みを読む

—絵馬・扁額・常夜燈(鳥居)・頒徳碑・絵葉書などから—」

歴史・民族学者として、また46年にわたる修験者として、身をもって霊峰を  
研究された西海賢<sup>にしがい</sup>二氏による講演会を開催。

講師：西海賢二

場所：五百亀記念館2階 市民ギャラリー 定員40名

※電話等にて要予約 0897-56-3199 まで

NPO  
法人

# 石鎚森の学校活動報告

※令和4年度愛媛県石鎚山系  
生物多様性保全推進協議会・  
令和4年度活動報告会静かに  
広がっているシカ問題  
とその現状と対策

【日時】2月21日(火)

13時30分～16時

【場所】愛媛県農林水産研究  
所／松山市上難波

【出席会員】愛媛県／自然保護

課、生物多様性センター、西条

市／市民環境部環境衛生課、久

万高原町／ふるさと創生課、愛

媛大学／社会共創学部、面河山

岳博物館、愛媛植物研究会、NPO

法人西条自然学校、NPO法人石鎚

森の学校、愛媛県勤労者山岳連

盟、えひめ森の案内人会、久万

広域森林組合

【オブザーバー】環境省中国四

国環境事務所、四国森林管理局

愛媛森林管理署

【協議会事務局】愛媛県民環

境部環境局自然保護課、愛媛県

生物多様性センター、西条市市  
民環境部環境衛生課、久万高原  
町ふるさと創生課

※その他、行政、企業、関係団  
体より約70名出席

【基調講演講師】

(株)西日本科学技術研究所

三嶺の森をまもるみんなの会

押岡茂紀氏

【事務局参加】

曾我部英司事務局長

岩本昌美・黒河由佳事務局ス  
タッフ



本協議会での対面での会合が  
久し振りに開催されました。令  
和4年度の各部会の活動報告に  
合わせて、冒頭には「シカ食害

で痛む四国山地の森く再生への  
道と課題」と題して、西日本  
科学技術研究所、三嶺の森をま  
もるみんなの会所属の押岡茂紀  
さんより基調講演がありました。

剣山山系・三嶺地域の概要とシ  
カ被害、その対策としての三嶺  
の森をまもるみんなの会の活動  
や高知県の希少野生植物の食害  
対策事業、また石鎚山系へ広が  
るシカの分布と被害に関してお  
話を頂きました。

やがて石鎚山系でも三嶺に観  
られる様なシカの食害により、  
山全体で土壌浸食や土砂の流失  
が始まること懸念され、本協  
議会でも防鹿ネットのモニタリ  
ング調査に始まるいくつかの対  
応策をたてつつ今後の更なる対  
応へと協議を進めています。

基調講演の後、植生等調査部  
会長の松井宏光氏、人材育成部  
会長の山本貴仁氏、また普及啓  
発部会よりは、事務局の県環境

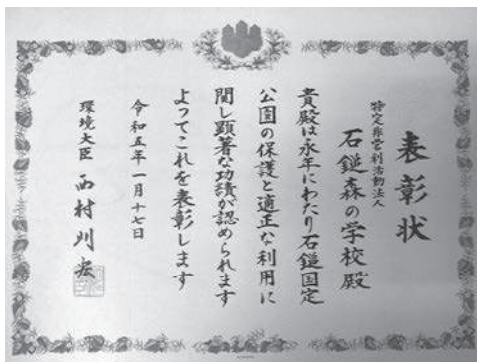
局自然保護課よりそれぞれの  
活動が報告され、参加者の意  
見交換があり閉会となりました。

※令和4年度自然公園関係  
功労者環境大臣表彰を受賞  
しました。

【日時】3月1日(水)  
13時30分～14時

【場所】東予地方局局長室  
／西条市喜多川

【表彰伝達者】  
山本泰士愛媛県東予地方局長  
【事務局参加】  
曾我部英司事務局長  
岩本昌美事務局スタッフ



今回、標記のとおり、石鎚森の学校の活動が環境大臣表彰を頂くことになりました。本来ですと、東京環境省内での表彰式となりますが、コロナ禍のため、東予地方局長様より当該表彰状と記念品が伝達された次第です。

**全国で19件、内、団体は森の学校1件でした。**有り難うございます。今まで当法人の活動を支えて頂いた会員を始めとする皆様、関わって頂きました全ての方々、また友好団体、そして事務局を置かせて頂いております石鎚神社関係各位、更には所轄庁ご担当氏に篤く深く御礼申し上げます。

因みに表彰理由は、「平成17年より、石鎚国定公園において、石鎚山の有する自然や伝統文化等を情報発信、公衆トイレや休憩所等の施設整備、登山者の安全を確保等、自然保全思想の普及啓発及び自然公園内の事故防止活動等に尽力した。」とあります。また、今回は愛媛県の奥道後玉川県立自然公園、瀬戸内海国立公園内で平成元年より活

動を継続されている越智彰様も同時に表彰されています。奇しくも愛媛県より個人、団体の同時表彰となりました。

【日 時】 3月22日(水)

13時30分～14時30分

【場 所】愛媛県農林水産研究所花き研究指導室大会議室／愛媛県東温市

【出席会員】愛媛県／自然保護課、生物多様性センター、西条市／市民環境部環境衛生課、久万高原町／ふるさと創生課、愛媛大学／社会共創学部、面河山岳博物館、愛媛植物研究会、NPO法人西条自然学校、NPO法人石鎚森の学校、愛媛県勤労者山岳連盟、えひめ森の案内人会、面河溪を愛する会、いしづち森林組合、久万広域森林組合

【オブザーバー】環境省中国四国環境事務所、四国森林管理局、愛媛森林管理署

【協議会事務局】愛媛県民環

境部環境局自然保護課、愛媛県生物多様性センター、西条市市民環境部環境衛生課、久万高原町ふるさと創生課から**関係会員約30名出席**

【事務局参加】

曾我部英司事務局長  
岩本昌美・黒河由佳事務局スタッフ

標記の総会が開催されました。議題は次の通りです。①令和4年度石鎚山系生物多様性保全計画進捗状況報告(案)、②令和5年度石鎚山系生物多様性保全推進協議会事業計画(案)、③令和5年度石鎚山系生物多様性保全推進協議会収支予算(案)、④今後の保全体制

各題に関して、事務局また担当氏より詳細に報告説明がなされ承認されました。また当協議会では、先月開催の報告会でも提案されたとおり、令和5年度に**発展的に解散し令和6年度にシカ**

の**食害が全県に及んでいることから、石鎚山系のみならず県全域の協議会設立に向けて各市**

町とも調整が進んでいるとのことでした。

議場、質問が事務局にあり保全にはシカの頭数削減が必須となりますが、この件に関しては別の協議会で対応しており、本協議会では、新協議会設立後もモニタリングや防鹿ネットを敷設するなどの希少植物保全等を中心とした事業を展開していくことの説明がなされ閉会となりました。



文責 事務局 曾我部英司



設置場所…本社境内  
 ※各所ローテーション  
 ご奉賛金…一張金五万円  
 (維持管理費を含む)

設置期間…春大祭・秋大祭  
 お山開き大祭  
 年末年始(十年間)

本社用境内提灯献灯の  
 ご奉賛をお願いしています。

# ご奉賛をお願いします 本社用提灯 献灯

ご奉賛下さいました方のご住所(県名市名)、お名前(二名まで)を記入させて頂きま

す。  
 ※文字の大きさは記入例と変わることがあります。ご了承ください。



↑ 記入例 ↑

※お申込みは、お電話にて受付させていただきます。

お申込み・お問合わせ  
 石鎚神社 担当 大岡  
 ☎ 089715514044

## 受付方法

担当…石鎚神社 大岡  
 受付…電話のみ  
 受付後…確認票と振替用紙を送付

### 確認票(案)

ご奉賛申込書	石鎚神社本社境内用提灯	住所	氏名	電話番号	提灯への記入内容
		〒〇県〇市〇町 〇丁目〇番地	石鎚太郎	電話番号	〇県〇市 石鎚太郎 花子

## 石 鎚 社 報

〒七九三一八五五五  
 (発行所) 西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

【連絡先】電話(〇八九七)

五五―四〇四四 本社

五五―七二四二 FAX

五五―四一六八 会館

五五―七二八一 FAX

五九―〇一〇六 成就

五九―〇四〇八 FAX

五三―〇〇〇八 土小屋

【振替】〇二六八〇一〇一八三六〇

【発行代表者】武智 正人

【編集】曾我部 英司

【印刷所】プリ・キユウ・プレス

【購読料】送料共 年五〇〇円

石鎚神社 で 検索



石鎚神社HP